



## 森つねと参院予定候補、 第3期特別党学校に入学 10日間ビッシリ学習

3月11日からはじまった第3期特別党学校に入学し、綱領、党史、政策、選挙方針、党建設を学ぶことができました。この特別学校は、党の若い機関幹部が対象のもので、「受講生のなかには何人もの国政候補もいました。普段学習時間が取れないだけに、集中して10日間学習できたことはよるこびでもありました」「北海道を10日間空けてしまいました、送り出していただいたことに感謝し、学んだことを毎日の活動にかかしてがんばります」と語る森つねと参院選予定候補です。

「綱領」を講義したのは、不破哲三社会科学研究所長です。「いっしょに写真を」とお願いしたら快くOKとなり、左の写真になったのです。不破さんの隣は、上田七加子さんです。上の写真は、編成された班のみなさんで、ひとりひとりが「成長をしよう」と励ましあいながら勉強しました。



## 地域のつどいで交流、要求運動でも、党勢拡大でも、候補としてたたかいは先頭に



特別党学校から帰ってすぐに、栗山町のつどいに参加。森つねと予定候補はみなさんとの初めての出会いです。参加者のみなさんが森さんを温かく迎えてくれすぐに溶け込み、懇談・交流しました。

その翌日、札幌厚別区のつどいや地域にある民主団体などを訪問し懇談しました。

### 勤医協の青年職員のつどいで訴え

21日、道勤医協本部で若い職員などが参加するつどいに出席し、自己紹介、原発やTPPのことや日本共産党と他党の違いを綱領で語るなどわかりやすく訴え、入党を呼びかけました。



「困っている人、みんな集まろう！まともに暮らしの保障を！1000人集会」に参加した森つねと予定候補。寒く風の強い日でしたが、700人が参加し、前日弁連会長の宇都宮健児弁護士の講演のあと、市内をデモ行進。この集会は、道生連、道労連、道民医連、道社保協が主催したものです。

宇都宮弁護士は、講演のなかで、「政府のとりにくまなければならぬのは、生活保護制度の改悪ではなく、貧困と格差の拡大をストップさせる政策です」と訴えました。

(写真)デモに参加し、先頭で横断幕を持つ森つねと予定候補

日本共産党国会議員団北海道事務所ニュース 2013・3・22 3月 no.6

札幌市中央区南1条東4丁目 ☎011・261・0786 FAX011・251・5408 E-mail: jcphkd@jcphkdbl.gr.jp